

地域連携医療の問題点と未来

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

宮崎医療ネットワーク (はにわネット) の現状と将来

Seagaia Meeting 2008
2008年5月24日



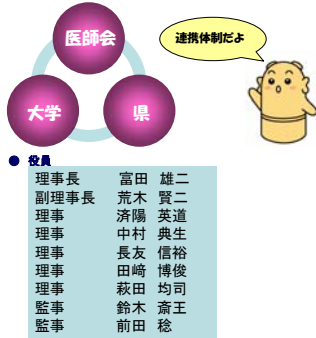
ハニーちゃん はう

元気君

NPOはにわネット
宮崎大学医療情報部
荒木賢二

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

NPOはにわネット協議会 組織



はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

NPOはにわネット協議会 定款



名称
第1条 この法人は、特定非営利活動法人宮崎健康福祉ネットワーク協議会（通称はにわネット）という。

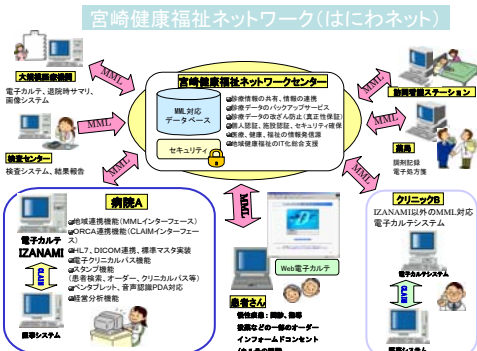
目的
第3条 この法人は、県民や医療関係機関に対し医療・健康・福祉分野の情報を広域で連携させる情報システムを提供することで効率よく効果的な健康支援サービスを提供することを目的とする。

特定非営利活動の種類
第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。
(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
(2) 情報化社会の発展を図る活動
(3) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助成又は援助の活動

事業の種類
第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。
(1) はにわネットおよびネットワークセンターの維持、管理、運用規程等の整備
(2) 使いやすく役に立つ電子カルテの開発
(3) 様々なシステム（電子カルテ、医療システム、検査システム、等）の相互接続
(4) 紹介状ネットワークの普及
(5) 医療連携、介護連携、クリニカルパスに関するシステム整備
(6) 検診および保健指導
(7) 健康診断データの有効活用
(8) 多施設共同治療システム、障害者ネットワークの構築
(9) 患者安全のためのインシデント報告・調査システムの構築
(10) 患者個人情報の保護を含めた情報管理の研究
(11) その他、宮崎県民の健康福祉向上のための活動
(12) 医療情報ネットワークの有効活用のための会員や県民に対する啓発活動
(13) 医療情報ネットワークの有効活用のための会員への情報提供やコンサルティング

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

はにわネット ネットワーク構成



はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

地域医療情報ネットワーク推進のための課題

課題	対策	事例 (★標準・構想段階)
個人IDに関して		
ユニーク性の保持が難しい(多重発症の問題)	ユニークIDを所有する組織との連携	
全国規模の個人IDが必要		社会保険カード 2011年度にも導入
ネットワークセンターの運営費捻出が難しい	複数の地域が共同でセンターを運営	★共同センター (SDP)
電子カルテの普及率が低く、連携可能な医療機関が少ない		
電子カルテの価格が高い、使いにくい、	低価格、使いやすい電子カルテの開発	電子カルテ開発プロジェクト IZANAMI
電子カルテを使っても収入が上がらない	診療報酬に反映させる	★電子的診療情報提供加算
連携先がほとんどない	参照のみの一方向連携も推進	宮大病院連携
職員がコンピュータに慣れていない	職員にコンピュータリテラシー教育	医療従事者向けe-Learning
医療機関において地域連携の意識が薄くない	啓発、情報交換	はにわネット講習会
地域住民の連携へのニーズが少ない	地域住民の啓発	元気eランド
医療情報が十分に活用されていない	多施設間の医療情報を匿名化した上で連携し、EBM等に活用する	医療情報プラットフォーム研究会

SDP: スーパーデータ連携プロジェクト

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

医療機関において地域連携の意義が理解されない

- 見る側と見せる側の「現場」の意識の違い
 - ▶ 見る側 → 非常に役に立つ
 - ▶ 見せる側 → 何の役にも立たない(と言う)
- 見せる側の意識
 - ▶ 外部の監査を受けているような気持。常に、最高のカルテ記載、診療行為を求められているような気持。失敗が露見してしまうという気持。
 - ▶ 院外で行われる医療についても、間接的に責任を負わされているような気持
 - ▶ 無料(無断)で業績を使われているような気持

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

地域連携の意義

- 医療機関間での情報連携(病・診連携、病・病連携)に伴うもの
 - ▶ 医療水準の地域格差差正
 - ▶ 医療行為の重複減少による医療の効率化
 - ▶ 地域での大型検体器共同利用の推進
 - ▶ 救急時の患者状態把握の円滑化
 - ▶ 紹介、連絡介時の情報伝達の円滑化(迅速、大量、正確)
 - ▶ 転院時の継続医療の円滑化(転院時の作業の省力化等)
 - ▶ 転院の円滑化による病院在院日数の短縮
 - ▶ クリニカルパスの継続性確保(地域クリニカルパスの構築等)
 - ▶ 診療所への逆紹介円滑化による診療所外来患者数増
 - ▶ 施設間情報連携の円滑化による患者への安心感向上
 - ▶ 施設間情報連携の正確化による医療事故防止
 - ▶ 経路情報の施設間情報連携による感染対策の向上
- 医療機関と薬局間での情報連携(医薬連携)に伴うもの
 - ▶ 薬局での服薬指導の正確化、効率化
 - ▶ 薬局から医療機関への経路情報のフィードバック
 - ▶ 処方量の重複減少による医療の効率化
- 医療機関と在宅医療の連携に伴うもの
 - ▶ 在宅医療の高度化、効率化
 - ▶ 入院から在宅医療への転換促進
- 患者への個人情報開示の効率化に伴うもの
 - ▶ 患者サービス向上
 - ▶ インフォームドコンセントの円滑化
 - ▶ 患者の治療意欲向上
 - ▶ 患者教育の推進
- 診療情報のネットワークセンターでの長期(永久)保存に伴うもの
 - ▶ カルテの長期(永久)保存の保証
 - ▶ 病院とつなぐ医療機関の情報取捨防止
 - ▶ 情報の改ざん防止
 - ▶ 一地域一患者一カルテの実現
- 施設をまたがって蓄積された情報の二次利用によるもの
 - ▶ EBM(用語)の根拠データ収集等の研究推進
 - ▶ 薬剤の臨床試験(治験)の推進
 - ▶ 医学教育への活用
 - ▶ 経営情報の施設間比較による経営効率化
 - ▶ 診療コスト情報の分析による医療制度の適正化
- 健常者を対象とした施設との連携(病健連携)
 - ▶ 健康診断、癌検診データの蓄積と後利用
 - ▶ 発病時の医療機関とのデータ連携

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

地域がん診療連携拠点病院の指定要件

各都道府県知事 殿

健発第0301001号
平成20年3月1日

厚生労働省健康局長

がん診療連携拠点病院の整備について

II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

- 1 診療体制
- (1) 診療機能

[4] 病連携・病診連携の協力体制

ア 地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行うこと。
イ 病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備すること。
ウ 我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパス(がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備すること。
エ ウに規定する地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行うこと。

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

はにわネットの新しい取り組み



ハニーちゃん



ほう



元気君

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

健康支援サービス「元気eランド」



ハニーちゃん



ほう



元気君

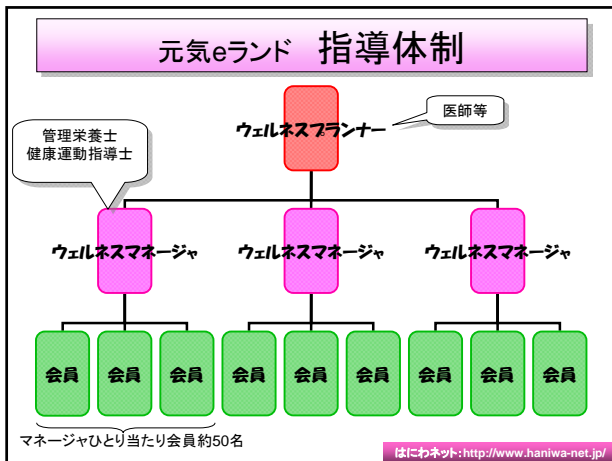
はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

元気eランドみやざき

- 健常者(疾病予備軍)の健康支援ネットワーク
- 「はにわネット」の情報流通基盤を活用
 - ▶ 個人IDを統一することにより健康-医療連携を実現
- 平成17年度経済産業省補助事業
 - ▶ 平成17年度 サービス産業創出支援事業 コンソーシアム機能強化事業
 - ▶ 採択事業名 元気eランドみやざき構築事業



はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>



測定日時: 2008年10月24日 11時11分

測定日: 2008年10月24日 (木) 測定時刻: 11時11分

身長: 158.0cm 体重: 52.2kg 体脂肪率: 26.7%

歩数: 27,342 (歩数-体重を元に自動計算されます)

今日の運動量

ウォーキング: 1200歩 歩行距離: 1km 歩行時間: 50分

その他の運動

今日の体調

体調: 良い まあまあ 良くない 悪い

今日の食事

朝食: 7:25 白米1杯、みそ汁、焼き魚1切れ、のり、たくあん1粒

昼食: 12:15 ほうとう(味噌)、焼うどん(味噌)

夕食: 18:30 白米1杯、さしみ、ひきき、野菜炒め

間食: 18:45 ほんごろう(味噌)

アルコール: 無

今日の気候(気象庁発表) 天気: 曇り時々雨 気温: 14.0℃

自由記述

今日は、早朝ウォーキングをした。少し涼しくなりましたが、肌寒い。食事量も少なめで満足はしていないが、今日は満足に食事も出来ず、体調も悪く感じています。体調が回復するまで、もう少し休んでみたいと思います。

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

マネージャーからの返信

内信: 2008年10月24日 11時11分 最終更新: 2008年10月24日 11時11分

マネージャーへの返信

内信: 2008年10月24日 21時34分 最終更新: 2008年10月24日 21時34分

マネージャーからの返信

内信: 2008年10月24日 14時19分 最終更新: 2008年10月24日 14時19分

マネージャーへの返信

内信: 2008年10月25日 22時30分 最終更新: 2008年10月25日 22時30分

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

病-診連携ネット「はうんど」

ハニーちゃん

はう

元気君

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

病-診連携ネット「はうんど」特徴

電子カルテ導入、
はにわネット接続中核病院

中核病院から紹介元、紹介先への一方向連携

紹介元、紹介先医療機関
Web電子カルテで参照

- 電子カルテを導入し、はにわネットに接続している中核病院と、紹介元、紹介先の一方向連携
- 医療機関に説明の張り紙(オプアウト方式)を掲示することにより、患者の「はにわネット」入会と連携同意は不要
- 医師に対して、セキュリティ講習会を実施することにより、「はうんど」参加医師を認定

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

埴輪 犬
群馬県境町上武士出土
古墳時代

はにわネット: <http://www.haniwa-net.jp/>

病-診連携の2つの方式

	中核病院主導方式	連携医師主導方式 (はうんど)
特徴	中核病院側で、入院患者の連携手続きを自動的にを行い、紹介元(先)の連携医師に通知する。	連携医師側で、連携したい患者を選び、中核病院に申請し、中核病院で連携手続きを行う。
誰が患者同意書を取るか？	中核病院の職員(事務) ★患者への説明は事務的	連携医師(地域のホームドクター) ★患者への説明は信頼の上に行うのでしっかりしている。
連携医師の選択	はにわネットの利用講習会を受け、認定された医師の中から、中核病院が選択	はにわネットの利用講習会を受け、認定された医師(中核病院側では選択できない)
連携する患者数	一気に増える。 ★ただし、連携手続きを取っても、参照しているかは不明。 ★新たな連携医師(紹介医)を増やせる可能性一経営に貢献	徐々にしか増えない。 ★連携医師の申請によるため、確実に連携が進む。

はにわネット:<http://www.haniwa-net.jp/>